

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年 3月 31日

事業所名:児童デイサービス・アニマートおおつか

		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	5		療育内容を工夫して、活動スペースが確保できるようにしている。	安全面や活動内容に配慮して行っていく。
	2	2	3		人員基準は満たしているが、運転手の確保が必要となる。
	3	4	1	事業所内はバリアフリーである。	入口のステップを移動し、車椅子の出入りをしやすくする。
業務改善	4	5			定期的にいけぶくろと合同でカンファレンス、検討会を開催している。
	5	4	1	今回初めて保護者様に評価を頂く。	保護者様のニーズを把握し、改善を行っていく。
	6	5			ホームページにて公表していく。
	7		5		現在行っていないが、今後検討課題となる。
	8	2	3		資格取得研修には参加している。今後全職員が研修に参加できるよう情報収集していく。
適切な支援の提供	9	5			初回で行った後、計画書の更新時に聞き取りを行う。
	10	5		アセスメントシートを活用している。	
	11	5		担当者を決めている。	毎月担当者が中心となり行っている。
	12	5			毎月担当者が中心となり会議で話し合っている。
	13	5		イベントカレンダーを作成している。	祝日、長期休暇は外出、外食を取り入れている。
	14	5		時間を決めている。	集団活動に全員参加できるようなプログラムにしている。
	15	5		リーダーを決めている	リーダーが進行役となり、利用児童、送迎の確認を行っている。
	16		5		送迎等で全員揃わないため、翌朝に行っている。
	17	4	1		その日のリーダーが記録し、情報の抜けがないよう共有を行う
	18	5		半年に1度行う。	目標の達成具合や、取り組み方の検討を行っている。
19	3	2			
20	5		児童発達支援管理責任者が出席している。	会議前に職員間で話し合いを行っている。	
21	5		お迎え時に先生との申し送りを行っている。	先生との申し送り後、職員間でも共有している。	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				児童の受け入れをしていません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		5		相談支援事業所と連携を取り、情報共有していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		5		該当児童がいないが、必要に応じて今後相談支援事業所と情報を共有していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	4		参加できるよう検討していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		5		保護者様の意向に沿って開催を検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		5		今後検討していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			リトムやメール、お電話など方法は様々ですが共有しています
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	3		ご相談があった際は対応していく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		契約時に説明をしている。	分かりやすい説明に心がける。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1		全職員が対応できるよう努めていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5		12月に開催	クリスマス会を兼ねてご家族様で参加でき、保護者様同士での連携もとれやすくする。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5		管理者を窓口としている	職員間の情報共有、迅速かつ適切に対応できるよう努めていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		月に1度発行	いけぶくろと合同でアニマート通信を配布している。
	35	個人情報に十分注意している	5		鍵付き書庫にて保管	事務所内の書類の管理、整理整頓を徹底していく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		特性を把握し情報共有している	保護者様と連携がとれるようコミュニケーションをとっていく。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5		保護者様の意向に沿って開催を検討していく。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	3	事業所内に掲示している	保護者様に周知されるよう検討していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		紙芝居で分かりやすくしている。	計画を立てて、水害、火災、地震想定で3か月に1度実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1	チェックリストを実施している	定期的に事例検討の会議を開催している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		5		身体拘束を行っていない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	3		指示書が必要な児童はいないが、今後検討していく。カロリー制限児童には0カロリーのやつで対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			定期的にいけぶくろと合同で検討会を開催している。